

ORIGINAL EROTIC FANTASY COMIC

女^{かん}葉^{よう}植物^{しよくぶつ}

SULTRY FOREST

半脱ぎ半吞み
粘液サンド

異種姦 孕ませ 長乳首
半吞み 膨乳 触手

SHE WENT ON A QUEST
TO PAY OFF HER DEBT.
HAVE A "SECRET PLAN"

OVER 18 ONLY
らぼた工房



今回の危険な
クエストへの
対策だ



なんと
形状記憶

戦闘時に
ちよっと
ズしても
戻ってくれる



QUEST OF ENBORIA



クエストは
「エンボリアの
花蜜の採取」

エンボリアの
出す分泌液を
飲まないための
マスクである

報酬は高額だが
達成率の低い
クエストだ



んっ

んっ

さて森の中で
「マスク」とは？

これは
彼女なりの



「エンボリア」の花は
滅多に咲かない
今夜はその
チャンスである

そろそろ

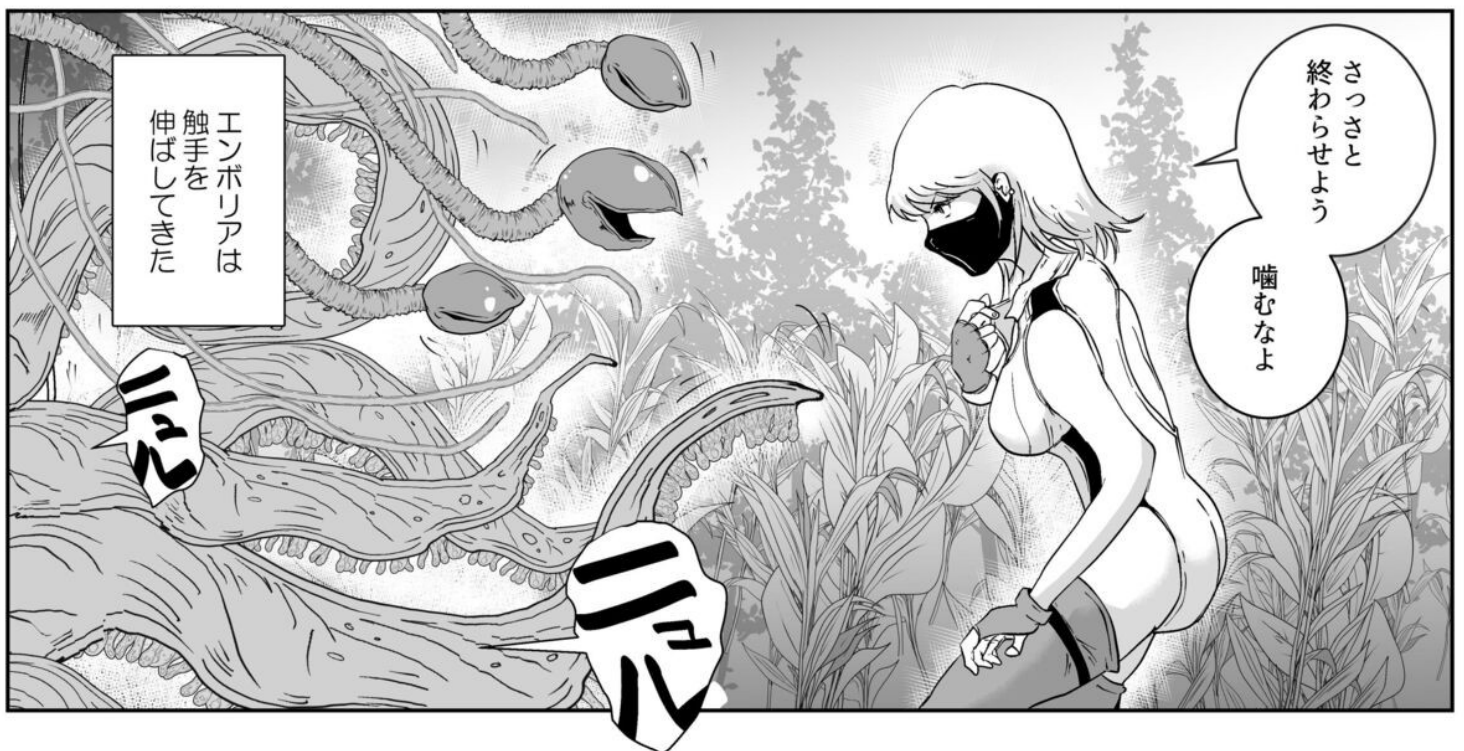
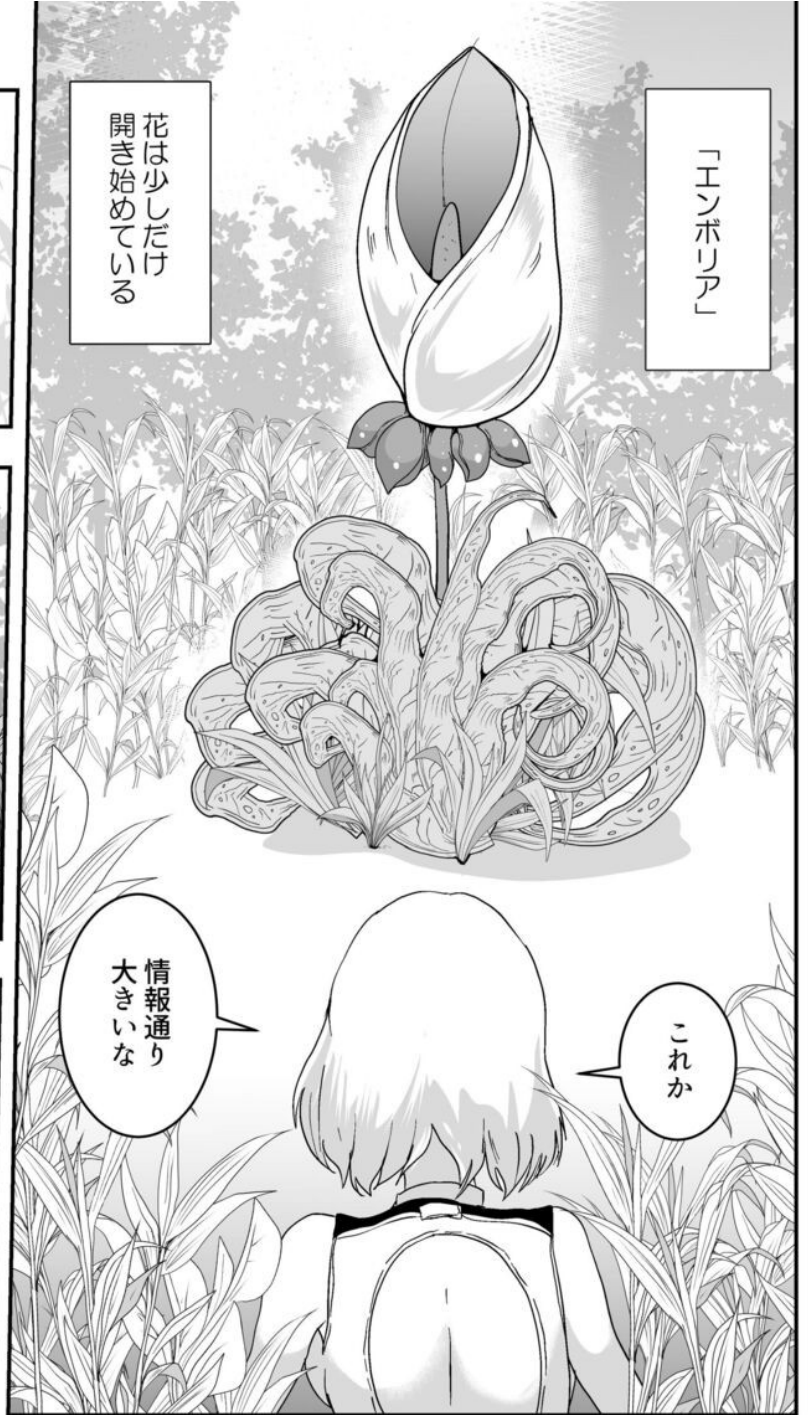
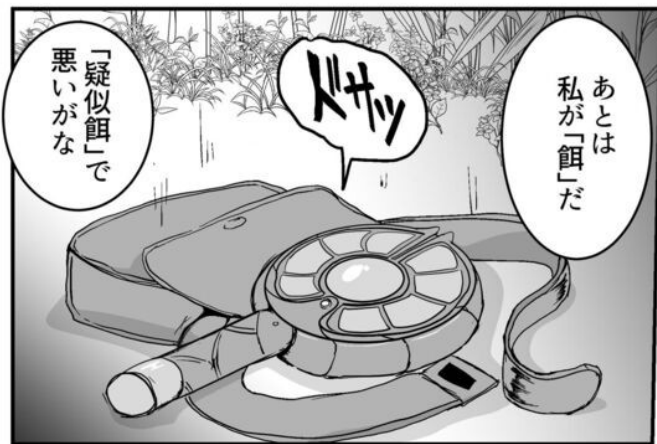
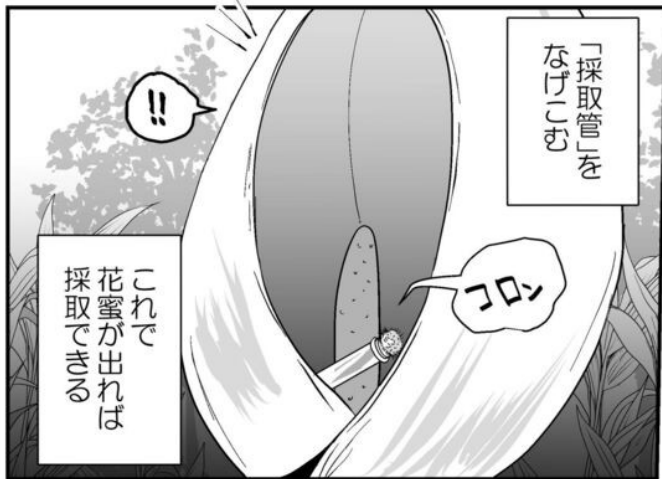
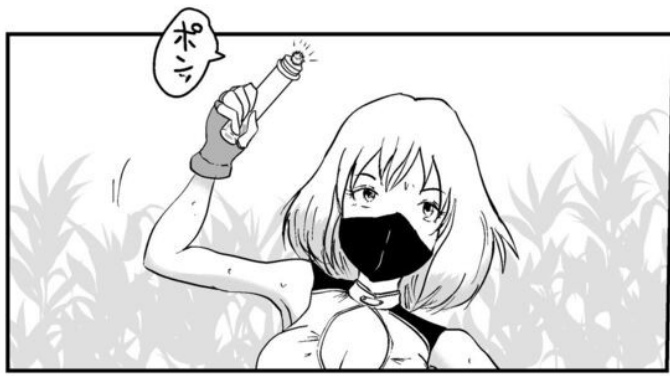
この
あたりに



熱気と湿気
植物たちの出す
空気に

胸やけ
するような

甘ったるい
匂いが
たちこめる







女にはさらに
勝算があった

.....

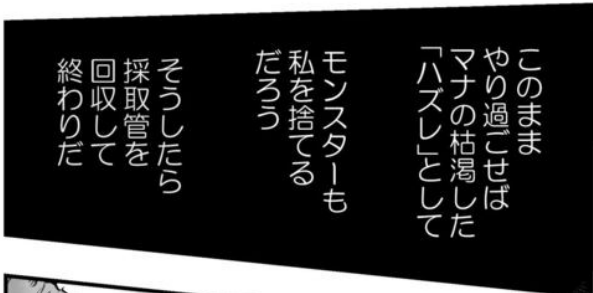


彼女は
「不感症」を
自負していた

これまで
モンスターに
イカされた
ことが無いのだ



「膨乳」も
始まっていない



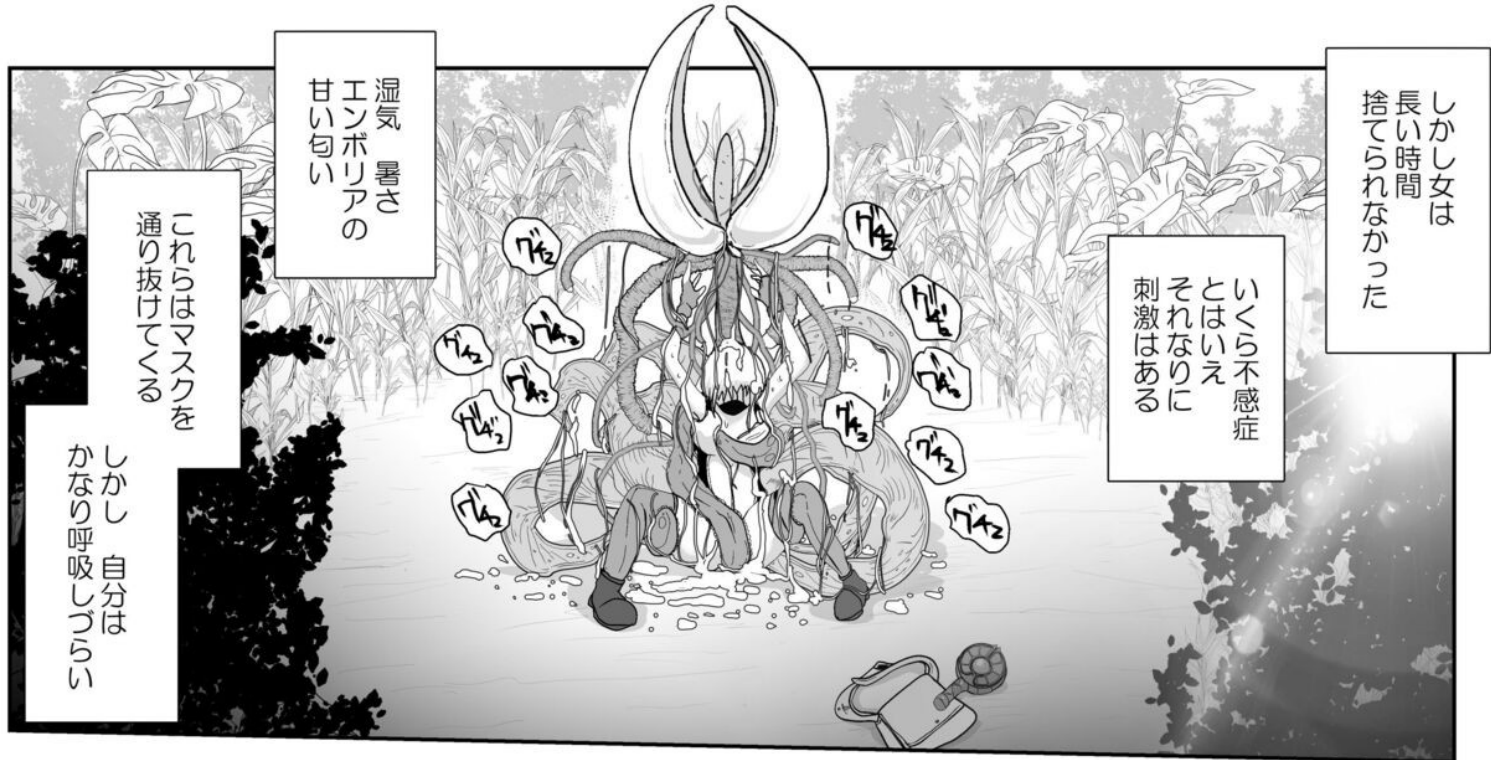
このまま
やり過せば
マナの枯渇した
「ハズレ」として
モンスターも
私を捨てる
だろう
そうしたら
採取管を
回収して
終わりだ



報酬は高額
これで

抱えた借金と
滞納した家賃も
返済できる

「簡単なものだ」
女は思っていた



しかし女は
長い時間
捨てられなかった

いくら不感症
とはいえ
それなりに
刺激はある

湿気 暑さ
エンボリアの
甘い匂い

これらはマスクを
通り抜けてくる

しかし 自分は
かなり呼吸しづらい



暑い……
苦しい……

喉が
カラカラだ



あつ
「ウオーター
プルーン」

「アバドンの灯」とは
まさに このこと



体力的にも
精神的にも
女はもう
限界だった



既に女の感じている
性的快楽は
相当なものだ

モンスターの精液は
女の体を変化させる

バストはパンパンに
膨れ上がり

肥大化した乳首から
吹き出す母乳を
触手が吸い取る

——女は
「不感症」の筈じゃ
なかったのか？

冒険にもいかに
ひたすら
「集合知」で知識を
集めているうちに

——残念ながら
そうではない

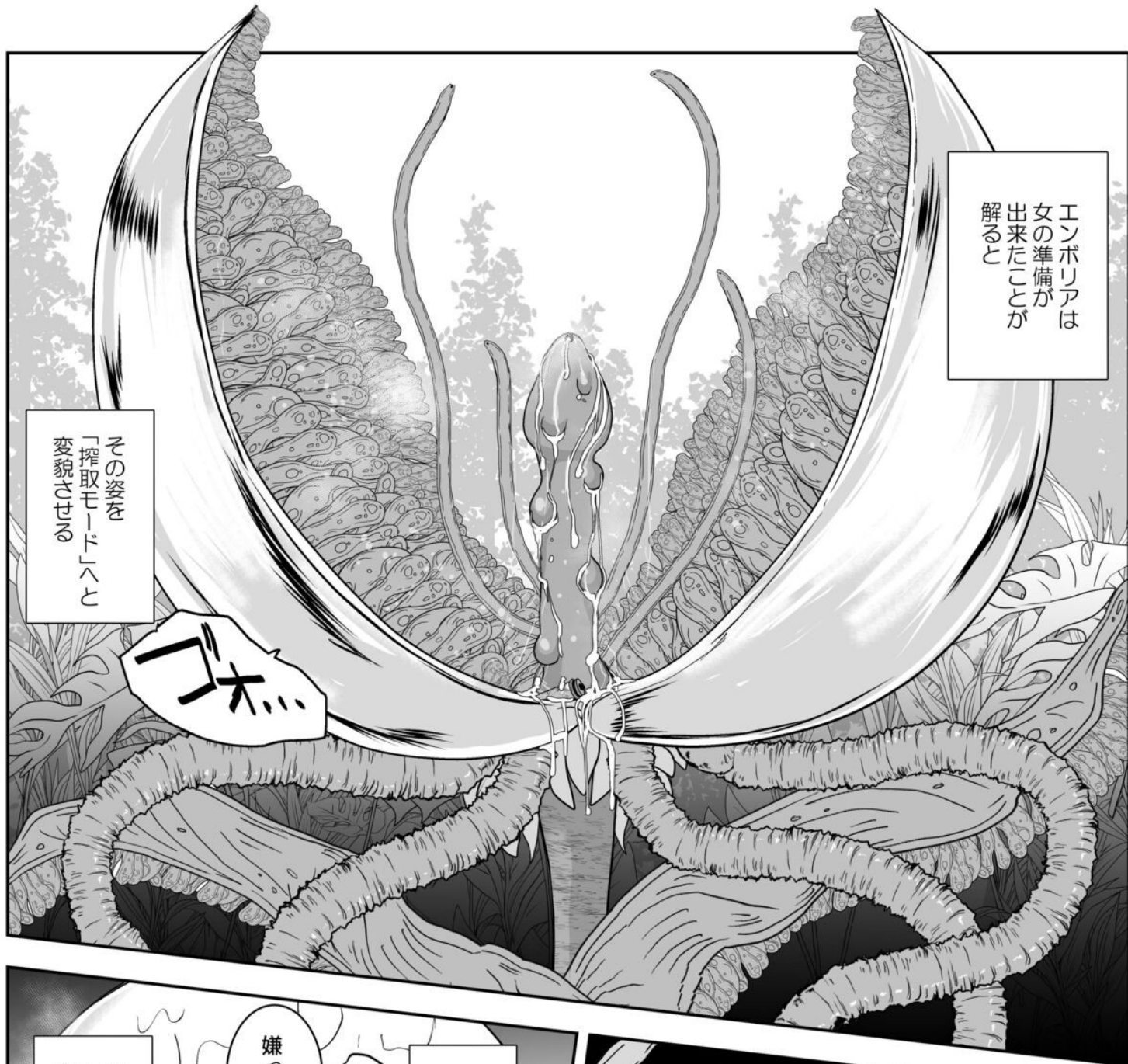
これまで強い
モンスターと
勝負してこなかった
だけだ

自分はこの
クエストをクリア
できると

信じ込んで
しまったのだ

吐息汗母乳に混じって
女の体からは
マナがあふれ出す





エンボリアは
女の準備が
出来たことが
解ると

その姿を
「搾取モード」へと
変貌させる

ゴホ...



嫌っ...

つまりこれは
「原液」

経験の浅い女に
こんなものを
注入したら...

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

無理...
無理...

お...



中央の男根から
甘い蜜がしたり
落ちている

ちなみに
この花蜜は
100倍に希釈して
「媚薬」にする

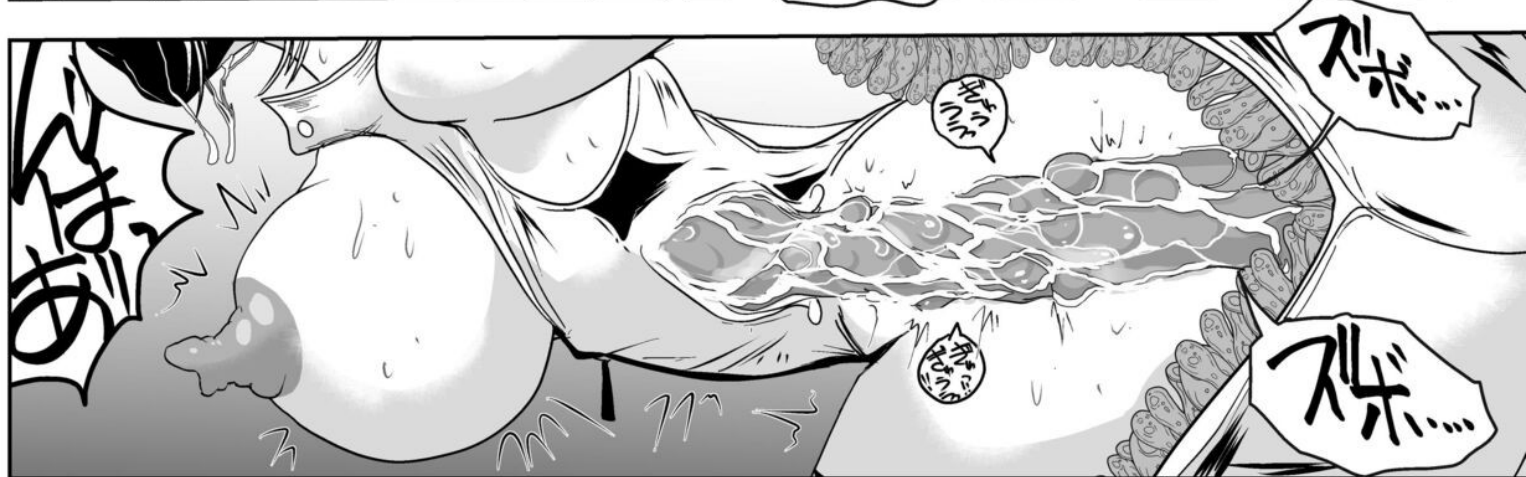
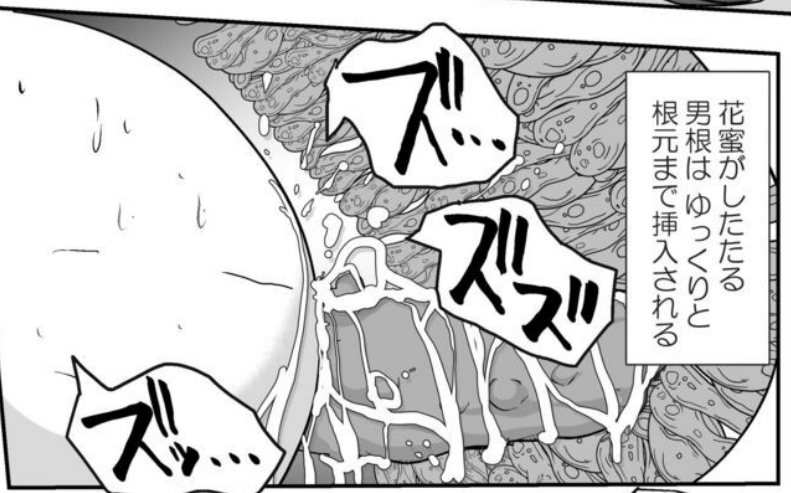
ゴホ

ゴホ



採取管にも
たっぷり入った
ことだろう

これが高い値で
売れるのだ



少し動いた
だけで

女は
あっという間に
イカされ



孕まされる



マナは
体中から吹き出し



エンボリアは
それを吸引する

短い触手ブラシが
絶えず女を
舐めまわし

さらに快楽を
与える

体ごと
上下にゆすり

子宮をさらに
奥まで突き上げる



ビクビクと
痙攣する乳首から
母乳がこぼれ出す

女は
初めての孕み
初めての呑まれに
失神寸前だった

ぼお……
らめ……れ……

ごあれ……
ちやる……

精液まみれのマスクが
まわりついて
上手くしゃべれない

……もったもちゃんと
言葉になったところで
モンスターは
言葉を理解しない

躊躇なく
マナの回収を
続ける



乳首はほじくられ
拡張され
母乳が止まらな
く
なっている

子宮を突き
上げられながら
粘液ブラシで
体をこすられる



渴きを潤す
精液も
再注入される

獲物が暑さで
死なないように
花弁を開き
放熱をする

女の哀れな
肢体が
あらわになる

「この獲物からは
もう少しマナを
搾り取れそうだ」

精液を注入し
マナを搾取

これが長い時間
繰り返される
うちに

女は失神して
しまった

それでも
エンボリアは
女を犯し続けた

そして

マナの味が
しなくなった
ところで

女は
捨てられた

失神してもなお
体の痙攣が
とまらない

マナを完全に
搾り取られた
後でも 快楽は
途切れないからだ

日が暮れ始め

養分をたっぷりと
溜めたエンボリアは
また しばらくの
眠りにつく



残念ながら
女の帰還魔法は
アクティブに
なっていない

クエストの報酬や
戦い方ばかりに
気を取られ
「詰め」を怠る
冒険の初心者
にはよくある
ことだ



そこに

エンボリアの食事が
終わるのを
隠れて待っていた
者が現れる

獣人「オーク」

オークは
女縛ると
地下の住処へと
運んで行く



オークは
女のマナなど
どうでもいい

性欲処理と
子を産ませる事が
目的だからだ

あま

んあ

あ
あ

ア
ア

ア
ア

ア
ア

それに
エンボリアの原液を
大量注入された
女など もう

「日常」に
戻れる
訳が無い

マスクは
捨てられていた
呼吸がしやすい

女は
大声でよがる

ジュ

ジュ

そして女は
ここで快楽を
むさぼりながら

オークたちと
一緒に暮らすこと
になるだろう

しかしモノは
考えようである

ここには
住むところがあり
借金取りも来ない

大事な母体として
食事もしっかり
供給されるだろう

なによりもはや
中毒になっていた
「集合知」も
縁を切れる

ア
ア
ア

ん
ん

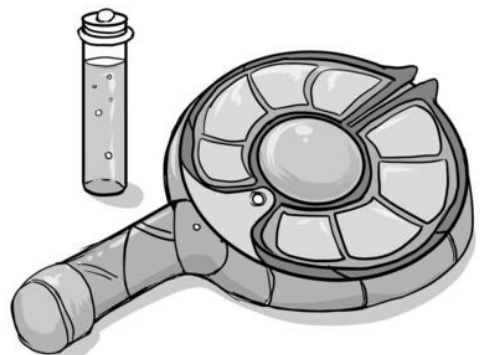
ん
ん



この後日 彼女の登録していたギルドで
「エンボリアの媚薬」の闇取引が行われた。
彼女の持っていた「コンバーターソード」も
かなり高価で落札された。

ギルドは、彼女に貸していた金額以上の
収益を得たようだ。

END



SETTING



【冒険者の生活】

この世界では、食べ物、飲み物、住むところさえ、最低限に生きていく分にはお金はかからない。しかし、良い暮らしをしようとするとは別。集合知がこんなに普及する前までは、多くの者が好きなように暮らしていたが、今、一部の者たちには「自分がいかに豊か、恵まれているか」を競いあう傾向がある。

【集合知（デラ・コンターロ）】

皆さんの住む世界でいうネット。玉石混合。仕様は空間モニタ（空中に魔法指で四角を作って表示させる）が主。宝珠を通して使うので、電源ケーブルは不要。



【冒険者ギルド】

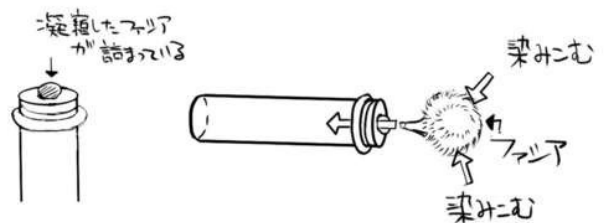
昨今の「異世界ブーム」のせいか、この世界にくる冒険者が爆増したことで小さなギルドが乱立している。新規冒険者獲得のために、ランクの高い部屋に住ませたり、低金利でお金を貸したりするなど、サービス合戦が展開されている。冒険者の登録数によって国から補助金が出るので、新規参入ギルドの中には、悪徳な業者もあり、新たにこの世界に来た人は、ギルド加入は十分吟味して欲しい。もちろん、ギルドへ未登録でも問題ない。国の制度を使えば、部屋も手に入れられるのだが、集合知検索では国の制度は上位に来ないという問題も。

【エンボリア】

半分植物、半分モンスターの「ベジモラ種」のひとつ。移動はできないので、手慣れた剣士なら問題なく狩り取れるが、こちらから近づかないと攻撃はされないし、倒したところでドロップもない。そもそも、植物として様々な恵みを与えてくれるベジモラ種を、進んで狩ろうとするものはあまりいない。「搾取モード」にある場合は、捕食葉や触手の動きがまさしくモンスターのそれになるうえに、花卉の色が淡いピンクから濃い紫色に変わるので、遠くからでもすぐに分かる。

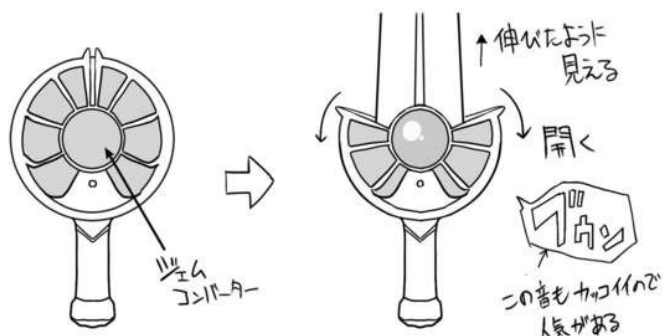
【採取管】

ふたのピンを抜くと、圧縮されたファシアの球が広がり、それが花蜜を吸って管の中に溜める。ある程度溜まると、内側からの内圧で蓋が閉じてファシアが落ちる構造。



【コンバーターソード（収納型ロングソード）】

かなり高価なマジックアイテム。収納型といっても、剣身が短く収縮して収納されているわけではない。剣身は別次元（アーセナル）に常在しており、中央のジェムコンバーターを利用してこちらの次元に具現化する。使用者本人のレベルと状況次第では、斬撃波も飛ばせる。もっとも、現在はジェムクラフト（宝珠を使った魔法）の発達で、ジェムだけを持っていれば持ち手を含めた剣全体を次元ズレさせることもできるが、このアンティークな装丁が冒険者たちのあこがれの的だ。本編のヒロインにとっては皮肉なことだが、その特徴的な開閉機構からか、この剣のあだ名は「エンボリア」である。





【本編ヒロイン：藍沢なつみ】

経験も実力も乏しい割に、完璧主義で他人を見下すところがある彼女。そこをうまく利用され、ギルドに騙され（と言ってもギルドとしてはれっきとした商売）借金が膨らんでしまった。

自分でも気づかないまま、どんどん沼にはまる。見た目は健康そのものだが、「マスクはエンボリアの直前にすればいい」ということさえ気づかないほど、半ば精神的に病んでいる。

エンボリアのクエストについては以前から知っており、いざ困窮となったらクエストをやれば良いと思っていた。今回の開花時期に合わせ、実行した。

根は責任感の強い、頼りになる女性なのだが、孤独と、雑多な情報が彼女をむしばみ、追い詰めた。ひとつの物語の終わりが、彼女にとって、充実した次の物語の始まりになることを祈る。

ごきげんいかがですか高石です。今作はいかがでしたか？相変わらずこんな感じですみません（何の謝罪）。
楽しんで頂ければこれ幸いです。

矢印描写、初めて使ってみたのですが、どうでしょう？ウザかったですか？自分はコマの中をぐちゃぐちゃに描いてしまうので、「効果線」が判別しにくくなってしまいます。なので、力の動きを表現するために今回、実験的に使ってみました。製本されたときにどう見えるかちょっとドキドキです。カキモジ（擬音）が吹き出しの中に入っているのも、見やすくしたいという理由なんです、絵が隠れてしまうのがちょっと現在悩みの種です。

そして本編です。なつみちゃん、多分、孤独なんですよ。ネット、じゃないや劇中の「集合知」も自分の言葉枠から外に出られず、結局自分にとって都合のいい結論を強化するために使ってしまう……私たちも同じです（該当されない方はお許しを）。

そして実はメインテーマだったんですけど、マスク。驚きましたね。自分も驚きました。

今回、ネームはかなり苦労しております。1か月半書き直しています。遊んでたわけではないです。遊んでましたけど。この物語は、彼女の「得体のしれない承認欲求みたいなもの」から湧き出る「息苦しさ」=「生きぐるしさ」を描こうとして。その象徴として、マスク描写や、そこからの解放みたいなことを描きたかったのですが、ここを掘り下げてしまうと、どうしても「マスクとは、彼女の心の在り方にとってどういう存在か」を描くことが避けられなくなります。

現状の日本ではここがかなりセンシティブなので、いくら「キャラにとって」としても、すぐ戦争になりえます。せっかく非日常（それもかなりニッチな）を楽しもうとしている同人誌で、そこを素人が偉そうに比喻する意味あるかなって思って、何度もうまい表現を探したものの結局、そのあたりは特に意味を持たせずに着地というチキンフィニッシュです。このビビりが。

自分はファンタジーって、「今」を映す鏡だと思ってまして。中世の童話に王子様との結婚 END が多いのは、それ以外に貧民が成り上がる道が無かったからじゃないかなと。しかも貧乏人と大金持ちの出会い「偶然」。自分で何かを仕掛けて、何かにたどり着けるような時代じゃなかったんじゃないかなって思うんです。

私たちが過ごしたこの数年間、未来の少年たちにはどんな風に映るのか。マスクは結局「情報の具現化」の象徴です。そんな情報に振り回される私たちですが反面、情報のおかげで、大絶滅の危険を避けられたのかもしれない。

これらが良い悪いのジャッジではなく、ただその期間にこんな物語が生まれた、ってことを残しておきたいなって思いましたってなんかエラそうに言って核心描いてないんだからダメじゃん。このチキン。KFC。

このあたりの描写を避けて、エロ絵に時間とページを割いてみたのですが、やはりもうちょっと「息辛さ」みたいなものを描きたかったです。これは単純に実力不足です。結構長くエロファンタジー道やってきたつもりなんです、まだまだ道半ばです。

そういえば、なつみちゃんが回収したエンボリアの媚薬がギルドに戻っていますが、これはいったい何者がギルドに持っていったんでしょうか……！！？これは謎が深まり……！！

……いや、これも「今」の鏡なのかもしれません。私たちの住む世界は、結構ファンタジーだと思います。私たちの住む世界とらばた世界をつなぐ道は、どこにでも、あるんだと思います。

あっと、ちょっと途切れてしまっている GoTo シリーズですが、筆をおく前にこのシリーズだけは完結させたいので、何とかして進めます。温かく灼熱の視線でお見守りください。

2023 年 7 月末 高石ふう



【奥付】 ・ 誌名：「姦葉植物 半脱ぎ半呑み粘液サンド」

・ 初版：2023 年 08 月 13 日 (C102) 印刷：株式会社 栄光 ・ 著者：高石ふう (support@larvatur.skr.jp) / Twitter：@lavatakoubou
・ サークル名：らばた工房 (EroticFantasy ラーバタス) <https://www.larvatur.info>



らばた工房
告知用
Twitterです



らばた工房